

厚真町 ため池ハザードマップ



もしものときの安否確認方法

災害時は電話が繋がりにくいことから、
いくつか連絡方法を知っておきましょう

災害用伝言ダイヤル 171

安否メッセージを録音・再生できる「声の伝言板」です。
インターネットを利用する「web171」も利用できます。

171 または NTT  検索

災害用伝言板

大規模な災害が発生した場合に、各携帯電話会社から提供される災害用伝言板です。携帯電話やスマートフォンから安否情報の登録・確認ができます。

SNSを活用しよう

SNSは災害状況や救援に関する情報共有を行ったり、家族・友人などの安否確認もできます。



● ため池ハザードマップについて

このマップは、大雨や地震などにより、ため池が決壊する可能性があるなど危険な状態になった場合、みなさんの地域にため池の水が流出した場合を想定して作成したものです。

近年のゲリラ豪雨(局地的大雨)や大地震の時には特に注意をし、浸水想定区域で居住または作業を行っている方は、すみやかに2階など高いところに避難が必要です。

ため池の水は、流出してしまうと徐々に水は引きますが、ため池周辺の沢や川に継続して雨が降っている場合は完全に水が引くまで高いところに避難してください。

避難をする時には、テレビ・ラジオ等の気象情報をこまめに確認し、動きやすい服装で、足元に十分注意しながら、なるべく徒歩にて余裕を持った避難を行ってください。

● ため池ハザードマップの活用方法

災害は、日頃からの備えが大切です。ハザードマップを活用し、いざという時に備えましょう。

▶ 想定される浸水区域や深さなどをチェック

- 避難場所はどこか、そこへ安全に行くためにはどう行けばいいのかを確認しておきましょう。
- 想定される浸水区域や深さなどをチェックし、災害時の様々な事態をイメージしましょう。



▶ 非常食や持ち出すものなどを準備しておく

- 非常食には、調理の手間がかからず、水もあまり使用しないもの(レトルト食品や缶詰など)を選びましょう。
- 懐中電灯やラジオ、乾電池も忘れずに用意しておきましょう。

▼情報の詳細はこちらの項目を参考

● 災害への備え



▶ 日頃から家族や地域で話し合い

- 災害時に協力し合えるよう、家族や地域で役割を話し合しましょう。
- 特に、避難時に支援が必要な要援護者(高齢者・障がい者・幼児・傷病者)への情報伝達や補助などの気配りが必要です。



▶ 避難場所までの避難経路を考える

- ハザードマップを見ながら避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう。
- 避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所を前もって探しておきましょう。



▶ 防災情報の入手先を確認

- ため池が被災すると、短時間で決壊に至る可能性があります。日頃から防災情報をどこで入手できるか確認しておきましょう。

▼情報の詳細はこちらの項目を参考

● 気象情報はここから



インターネットやアプリも活用しよう!

▶ 町で公表している他のハザードマップも活用!

- 厚真町では、台風・大雨・津波・地震を対象とした防災ハザードマップを作成しています。このマップと合わせて活用し、災害学習をさらに深めましょう。



● ため池決壊に注意!

ため池が、決壊する大きな原因に、**大雨**と**地震**があります。

まれに、**融雪水**の急激な水位上昇や**老朽化**による決壊の被災も報告されています。

● ため池決壊の主な原因 大雨や大地震のあとは要注意!

大雨

ため池の洪水吐(許容量を超えた貯水を放水する施設)の能力には限界があり、ゲリラ豪雨などの局地的な大雨が長く続いた場合、ため池の水位が上昇し、堤防を乗り越えた水の勢いによって堤防が浸食され、決壊につながる危険性があります。

大きな地震が発生すると、堤防で亀裂や地すべりが発生したり、地盤の液状化現象が起きるなど、堤防決壊の危険性が高くなります。

地震 発生直後

雪(融雪水)

ため池の急激な水位上昇は、多量の融雪による洪水によって発生する場合があります。雪解けの時期にはため池への流入水と水位上昇への注意が必要になります。

老朽化したため池は、ある日突然崩壊することがあります。ただし、崩壊の予兆として変形や漏水が起こるものと考えられるので、日常的な管理でこのような予兆を見逃さないことが重要になります。

老朽化

● ため池が決壊する前に避難!

情報収集・確認

- ラジオ、テレビ、インターネットなどから正確な気象情報を確認する。(緊急地震速報、台風情報など)
- 町が発表する**避難情報**に注意する。

避難準備

- ため池の浸水被害の範囲を確認する。
- 避難場所、安全な道路を確認する。
- 非常持ち出し品を常備する。
- 身の危険を感じたら早めに避難する。

ため池決壊の恐れあり!

避難

- **避難勧告・避難指示(緊急)**が発表されたらすぐに避難する。
- 動きやすい服装で、徒歩で避難する(状況に応じて車での避難もあり)。

▼ 避難情報の詳細はこちらの項目を参考

● **避難情報について**

● **避難時の心得**

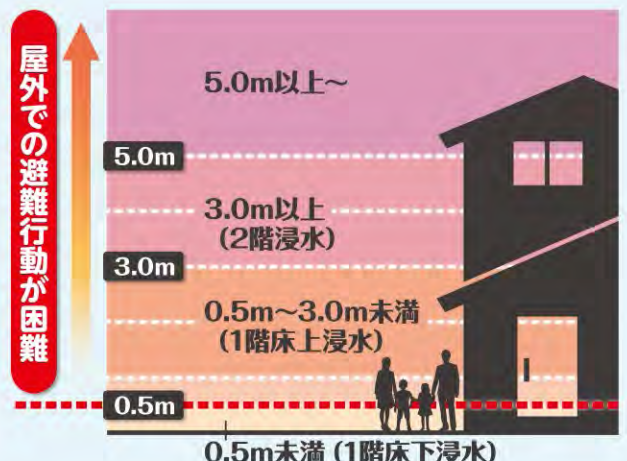
状況を把握し、適切な行動を心がけましょう!!

● 家屋の浸水・浸水深の目安

洪水によって市街地や家屋、畑が水に覆われることを浸水といい、その深さを浸水深といいます。

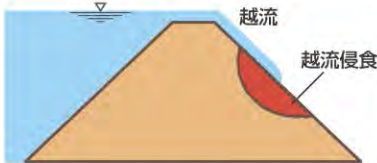
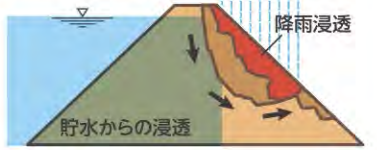
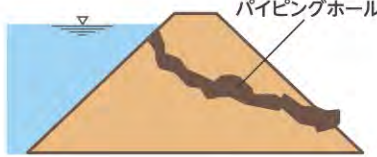
一般家屋では3m以上で2階も浸水するおそれがあるため、あらかじめハザードマップで自宅がどの程度浸水するのか確認してみましょう。

逃げ遅れた場合、近くの建物の2階以上、浸水や土砂が流れこむおそれのない高い建物など、少しでも安全な場所に避難するようにしましょう。


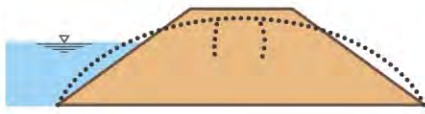


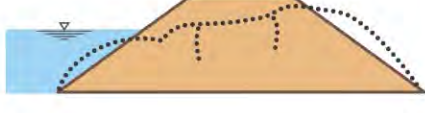


● ため池決壊のメカニズム

● 豪雨による ため池の被災メカニズム

区分	被災形態	被災メカニズム
越流破壊		豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出すと、下流斜面を流下することによって、破壊する可能性がある。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する可能性がある。
すべり破壊		貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する可能性がある。
浸透破壊		堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下すると、貯水位が上昇した時に堤体の中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する可能性がある。また堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し破壊する可能性がある。

● 地震による ため池の被災メカニズム

区分	被災形態	被災メカニズム
クラック		堤体の頂部などにクラック(亀裂)が発生する可能性がある。堤体の上下流方向に生じるクラック(亀裂)は水みちとなることがあり、特に注意が必要。
沈下		堤体の形状をほぼ保ち、クラック(亀裂)などを伴いながら堤体が沈下する可能性がある。多くは軟らかい地盤で発生している。
斜面崩壊		堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる可能性がある。
斜面すべり		地震動により堤体の法面にすべりが発生する可能性がある。
崩壊		堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する可能性がある。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるもと考えられる。

○ 避難情報について

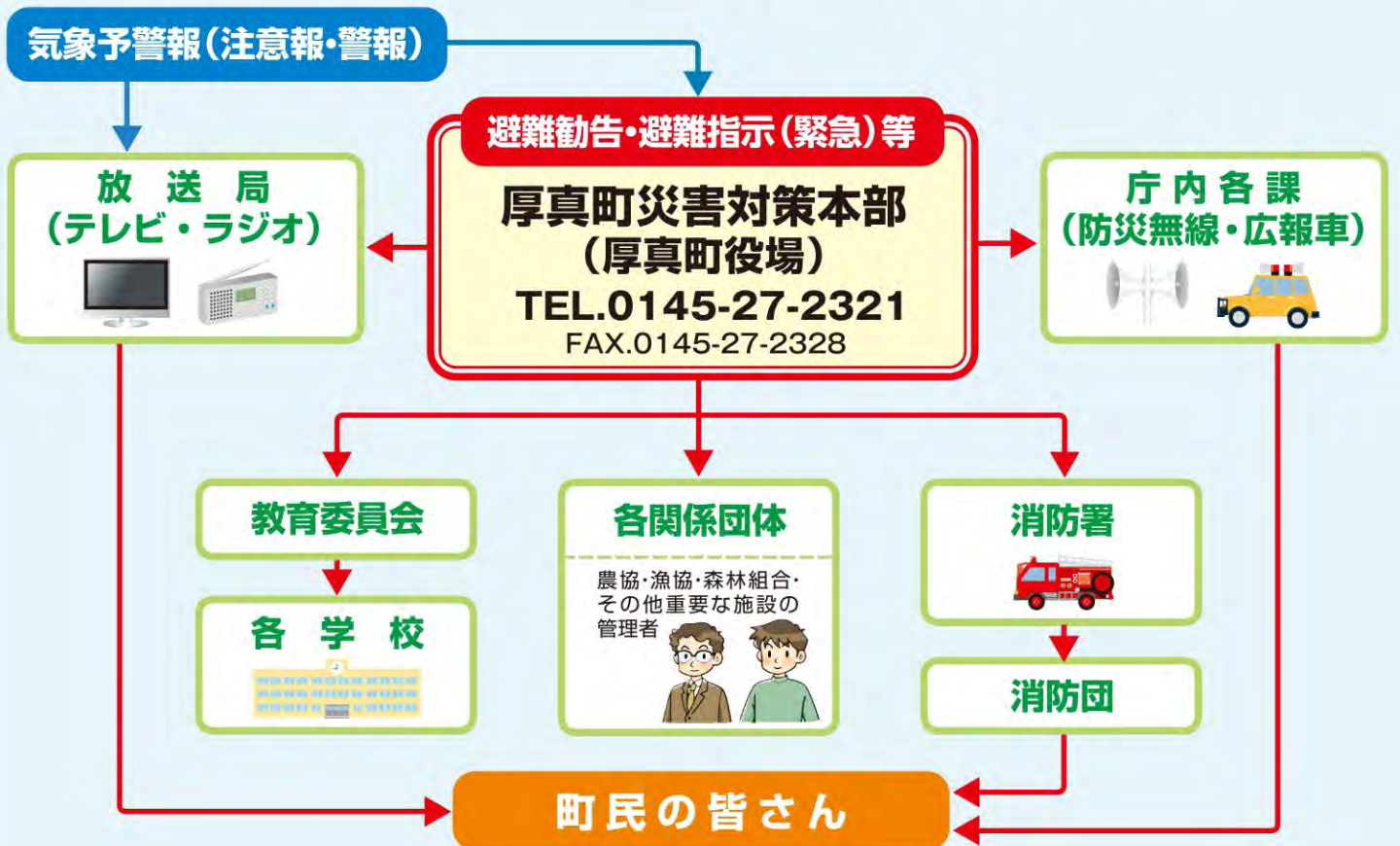
災害のおそれがある時は、状況に応じて町から避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急)が発令されますので、これらの情報に十分注意して行動しましょう。



※気象状況などにより避難情報が聞こえない場合や、伝達が間に合わない場合がありますので、身の危険を感じたら早めに避難しましょう。

○ 情報の伝達経路

気象情報・警報と避難勧告等は下記の図のような経路で町民の皆さんに伝達されます。



避難時の心得

▶ 安全な避難経路の確認を



ハザードマップで、最寄の避難場所を確認し、避難場所までのルートを確認しましょう。災害発生前に事前に避難経路を確認しておきましょう。

▶ 非常持ち出し品の事前準備



避難する時の荷物は必要最低限とし、事前準備をしておきましょう。

▶ 正確な情報収集と自主的避難を



ラジオ・テレビやインターネットなどで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

▶ 避難の呼びかけに注意を



危険が迫った時には、役所や消防団から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。

▶ 避難する前に

二次災害を防ぐ!



避難する前に、電気・ガスなどの火元を消し、避難場所を確認しましょう。また、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。

▶ 速やかに避難しましょう



避難勧告などは、危険が迫った時に出示されますので、速やかに避難しましょう。避難の際には警察などの指示に従いましょう。

▶ お年寄りなどの避難に協力を



お年寄りや子供、病気の人などは、早めの避難が必要です。また、近所の高齢者、障がい者、乳幼児等などの要援護者の避難に協力しましょう。

▶ 動きやすい格好、2人以上での避難



避難する時は動きやすい格好で、2人以上での避難を心がけましょう。

▶ 高い道路を通りましょう

段差や溝に注意!



避難にはできるだけ高い道路を選び、浸水箇所では、溝や水路に十分注意しましょう。また、がけ地などでは土砂災害に注意しましょう。

▶ 万が一、逃げ遅れた時には

↑ 垂直に避難する!



万が一避難が遅れ、危険が迫った時は、一時的に家の2階や近くの3階以上の建物に避難しましょう。

気象情報はこちらから

以下の機関から防災・気象情報を入手できます。

提供内容	提供機関	アドレス
気象情報	気象庁	https://www.jma.go.jp/jma/index.html
防災情報	北海道総務部 危機対策局 危険対策課	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/
	国土交通省 川の防災情報	PCサイト https://www.river.go.jp/kawabou/ipTopGaikyo.do
		携帯サイト http://i.river.go.jp/p/xmn0101010/
	北海道防災情報	http://www.bousai-hokkaido.jp/
北海道土砂災害警戒情報	http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/	



地震の震度(気象庁震度階級)




震度4以上の揺れが予想された場合、全国瞬時警報システム(Jアラート)により防災行政無線で緊急地震速報が流れます。

震度と揺れの状況

<p>震度 1</p>  <p>屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p>	<p>震度 2</p>  <p>屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には目を覚ます人もいる。</p>	<p>震度 3</p>  <p>屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。眠っている人の大半が目覚めます。</p>
<p>震度 4</p>  <p>歩いている人のほとんどが揺れを感じ、眠っている人のほとんどが目覚めます。電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。</p>	<p>震度 5弱</p>  <p>大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。</p>	<p>震度 5強</p>  <p>物につかまらないと歩くことが難しい。補強されていないブロック塀が崩れることがある。</p>
<p>震度 6弱</p>  <p>立っていることが困難になる。固定していない家具が移動し倒れたり、ドアが開かなくなることがある。</p>	<p>震度 6強</p>  <p>はわないと動くことができない。破損・落下する建物が多くなる。大規模な地すべりや、山体崩壊が発生することがある。</p>	<p>震度 7</p>  <p>揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。耐震性の低い建物は、傾くものや倒れるものが多くなる。</p>

雨による危険度のチェックポイント

1時間雨量による雨と被害の目安

<p>やや強い雨 10~20mm</p>		<p>ザーザーと降る雨。地面いちめん水たまりができます。長く続く場合は注意が必要です。</p>
<p>強い雨 20~30mm</p>		<p>どしゃ降りの雨。側溝や下水があふれ、小川の氾濫、崖崩れの心配もあります。</p>
<p>激しい雨 30~50mm</p>		<p>バケツをひっくり返したような激しい雨。道路が川のようになり、規制も行われます。</p>
<p>非常に激しい雨 50~80mm</p>		<p>滝のように降り(ゴーゴーと降り続く)、土石流が発生しやすくなります。</p>
<p>猛烈な雨 80mm以上</p>		<p>息苦しくなるような圧迫感があり恐怖を感じます。雨による大規模災害が発生するおそれがあります。</p>

○ 災害への備え

○ 非常持ち出し品を準備する



必要なものを書き込み、チェックしてみましょう!

■ 貴重品

- 現金(10円玉を含む)
- 預金通帳
- 印鑑
- 健康保険証(コピーでも可)
- 運転免許証(コピーでも可)
- 親戚・知人等の連絡先メモ
- 家族写真(家族とはぐれた時などに便利)



※重要書類のコピーや、必要事項をメモした
ものなどを入れると良い。



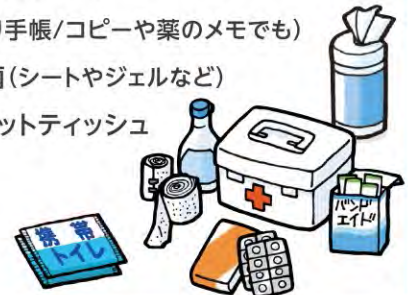
■ 避難用品

- 底の厚い靴(登山靴やスニーカーなど紐で結ぶもの)
- 手袋・軍手(頑丈な作業用手袋や革手袋が良い)
- ヘルメット・防災ずきん
- 懐中電灯・ヘッドライト
- ホイッスル
- ハザードマップ・地図



■ 救急・衛生用品

- 絆創膏
- 消毒液
- 包帯・三角巾
- ガーゼ・脱脂綿
- マスク
- ピンセット・毛抜き・はさみ
- 常備薬(風邪薬・傷薬など)
- 持病薬(おくすり手帳/コピーや薬のメモでも)
- アルコール除菌(シートやジェルなど)
- ティッシュ・ウェットティッシュ
- ビニール袋
- 携帯トイレ
- 生理用品



■ 非常食・飲料水

- 飲料水 缶詰
- 乾パン・缶入りパン
- ゼリー飲料や栄養補助食品
- チョコレート・あめなど

※火を通さずに食べられるもの。

■ 衣料品・防寒対策用品

- 雨具(レインコート・ポンチョ)
- レジャーシート・保温シート
- 使い捨てカイロ
- 着替え・防寒具

※雨などに濡れた場合に備えて、着替えは1セット分を用意。

■ 個別必要品

- 粉ミルク・ほ乳びん・消毒剤
- ベビーフード・おやつ
- 紙おむつ・おしりふき
- 絵本・おもちゃ
- 抱っこひも・授乳用ポンチョ
- 母子手帳(コピー)
- 大人用紙おむつ・尿とりパッド
- 介護用品
- 予備メガネ・補聴器
- 入れ歯・洗浄剤
- 携帯用杖
- ペット用品 など

お問い合わせ

厚真町役場

住所 〒059-1692 北海道勇払郡厚真町京町120番地
TEL 0145-27-2491 (産業経済課農業農村整備グループ)